

令和3年度新潟県立図書館運営基本指針 行動計画評価シート

1 地域社会への貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県の行政施策と連携した取組	県各部局とのコラボ展示	<ul style="list-style-type: none"> 県各部局との協議・展示 市町村巡回展示の試行 	ギャラリー展示回数 【2回】	行政連携事業の運用整備や改善を図るとともに、図書館を通じて県政策を県民にPRするためのコラボ展示の呼びかけを県職員専用ポータルサイトで行い、以下の展示を実施した。 <実績> ①にいがた「道」フォトコンテスト受賞作品パネル展示会 (県土木部道路建設課) 4月6~27日 ②新潟駅周辺整備事業PR展 (新潟市新潟駅周辺整備事務所) 7月6~27日 ③統計グラフコンクール (県統計課、県統計協会) 12月14~28日 ④にいがたフォレストリーマガジン写真展 (県林政課) 1月19日~2月6日 ⑤拉致問題を考える巡回パネル展 (県国際課拉致問題調整室) 2月9~27日	5回	達成率250% 評価 (5) 100%以上	県施策を県民にPRする場としての図書館利用について、職員の理解が得られ、年度当初の目標を達成した。 次年度以降も更なる行政連携展示に取り組む。 また、今年度試行的に開始した「県読書おたよりコンクール作品展」市町村図書館巡回展示の充実を図り、県の行政施策の県民への周知に繋げていきたい。	A	目標を達成したことを評価する。 効果的な取組みであり、月替わり程度での展示等の実施が望ましい。 令和3年度第2回図書館協議会で指摘した通り、「県行政との連携拡大を目指す」ことが本件の趣旨ではないことを、職員全体で共有していただきたい。新規の取組みであることから、政策を伝える相手である「県民」に対する意見聴取を行うなど、改善方策を検討する必要がある。
	特設コーナーにおける県行政施策の広報	<ul style="list-style-type: none"> 施策広報コーナーの整備 パブリックコメント・コーナーの充実 県各部局への周知 展示の実施 	コーナー展示回数 【8回】	図書館を通じて県施策を県民にPRするため、連携展示の呼びかけを県職員専用ポータルサイトで行った。 県民に関心を持ってもらうための取組として、展示ブースでの施策PRチラシや関連グッズの配布、施策アンケートを実施した。また関連テーマ図書リストを作成し配布した。 <連携展示実績> 新潟県立万代島美術館、新潟県立歴史博物館、新潟県女性財団、長岡地域振興局、福祉保健部感染症対策・薬務課、生涯学習推進課、福祉保健部健康づくり支援課、農林水産部食品・流通課、福祉保健部障害福祉課、新潟県労働委員会、県民生活・環境部スポーツ課、県民生活・環境部県民生活課	24回	達成率300% 評価 (5) 100%以上	県施策を県民にPRする場としての図書館利用について、職員の理解が得られ、多くの部局から申し込みがあった。今後も行政連携展示の周知を図り、県民に向けた情報発信を積極的に行っていく。	A	
	県各部局への情報提供の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 県庁貸出の手続改善 県各部局への周知 	県庁貸出冊数 【100冊】	行政連携事業の運用整備や改善を図るとともに、県行政との連携拡大を目指して県各所属、職員に対して県職員専用ポータルサイトで県庁貸出サービスのPRを行った。	160冊	達成率160% 評価 (5) 100%以上	県職員専用ポータルサイトでの呼びかけの効果もあり、貸出冊数は目標を上回った。 今後は、仕事に役立つ資料の紹介や、調べ物のお手伝い事例の紹介等、利用促進のための取り組みを進めていく。	A	県内図書館では、自治体関連の定期刊行物 (雑誌) の目次を、定期的にポータル等に掲載し、レファレンスサービスや政策・施策の立案等に貢献している事例がある。より県行政を支える取り組みを進めてほしい。

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
	新潟県関係資料の積極的収集	<ul style="list-style-type: none"> ・出版情報の多角的な把握 ・積極的収集と展示 ・書庫等の保存環境の整備 ・デジタル化も見すえた行政資料の収集・展示の改善 		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は行政資料の収集に重点的に取り組むこととし、欠号状況・出版状況のチェックをおこない、寄贈依頼・受入れを進めた。 ・書庫の保存環境については、実態調査を進めるとともに、不要物品等の廃棄を進めた。 			郷土資料の収集点数は、2月末現在で3,665冊となっており、昨年同時期より273冊の増加となっている。特に、今年度重点的に取り組んだ「行政資料」の収集点数については、対前年度比6割増の486冊となっている。		収集した資料について、文書館等とも連携しながら、経年による散逸や破損等を防ぐ保存の取組みが必要である。
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル資料の追加 ・利用環境の整備 ・利用者へのPR 	デジタル化画像数【1,000点】	今年度の参加機関は、「上越市公文書センター」「上越市立高田図書館」「長岡市立中央図書館」「新発田市立歴史図書館」「良寛記念館」の5機関および当館。10月から12月にかけて順次撮影を行い、3月中に追加・公開する予定となっている。	935点 (画像数) (撮影資料点数75)	達成率94% 評価(4) 90~100%	当初の年間計画どおり作業を進めることができたが、大判の絵図等の撮影に時間を要したこともあり、撮影画像数は目標にわずかに及ばなかった。次年度以降、関係機関にも呼びかけ充分調整を行い、デジタルライブラリーの更なる充実を図ってきたい。	B	貴重資料のデジタル化は市町村支援の側面もあり、着実に進めたことを評価する。目標のアクセス件数にとられ過ぎることなく、引き続き魅力的で時宜を得たテーマ設定により、広く県民にアピールすることを期待する。「二次利用条件の明示」については高く評価する。参加機関がさらに増えてデジタル資料が増加すること、及び、利便性の向上という観点からは、画面上でページ指定ができる機能があることが望ましい。貴重資料や（時々話題に関連した）郷土資料の「現物」を、関連図書とともにギャラリーで展示することを期待する。美術館・博物館的な役割も果たせるとともに、関連図書の利用にもつながると考える。新潟の郷土芸能を収録・紹介するデジタル化への取組みも要望する。
			アクセス件数【12,000件】	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上でテーマに沿った収録資料を紹介する「新潟県の歴史と文化を旅するギャラリー」を6月から開始し、2ヶ月ごとに更新した。 ①「ちょっと昔の新潟」 ②「近代日本の発展と佐渡金銀山」 ③「風雲！春日山城」 ④「雪国の風情を楽しむ」 ⑤「歩いて楽しむ古地図の世界」 また、7月に全国のおすすめデジタルアーカイブリンク集「デジタル画像を自宅で楽しむ」を開設した。 <ul style="list-style-type: none"> ・「資料の絞り込み検索」を実現するシステム修正が可能となった事にあわせ、サイトのデザインをより便利にわかりやすいものへ見直すこととし、全体のリニューアルを実施、懸案であった「二次利用条件の明示」についても開始した。 ・ホームページ上でデジタルライブラリーに関する情報の更新を定期的に行い、ツイッター等でPRに努めた。 	10,434件	達成率87% 評価(3) 80~90%	PRに努めるとともに、より利用しやすいシステムを目指し様々な取組を行った結果、前年度よりはアクセス件数が増加したものの、目標値には届かなかった。3月の新規データ公開に合わせ、新規利用者の獲得を目指しさらにPRを行っていききたい。	C	落ち着いて利用することができるスペース（部屋）を館内に設置することで、来館利用によるアクセス件数が増えるのではないかと。貸出・閲覧サービスの利用増加との相乗効果も期待し得る。

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	<ul style="list-style-type: none"> データの登録 利用者へのPR 	データベース収録数【2,500件】	郷土人物索引については、2,311件のデータ入力作業を進め、登録作業を開始している。 郷土雑誌記事索引については、1,053件の記事を採録し、登録作業を進めており、追加の採録も開始している。	3,835件	達成率153% 評価(5) 100%以上	2つの索引の合計で、目標を超える約3,400件の登録をおこなうことができた。今後も、登録作業を進め、データベースの充実に努めていきたい。	A	
			アクセス件数【5,300件】	3月に予定されているデータ公開にあわせ、ツイッターによる情報発信を予定している。また、アクセスしてもらう機会を増加させるため、郷土人物についての「ピックアップコーナー」の新設を予定している。	3,928件	達成率74% 評価(2) 70~80%	今年度のアクセス数は目標値を下回った。3月には新規データ公開もあるため、利用者拡大を目指して、より広くPRに努めていきたい。	D	アクセス件数を増やす工夫が求められる。郷土の偉人等について学習する機会がある小・中学校や市町村の図書館等とさらに連携し、情報共有やPR活動を展開することが効果的であると考え。ただし、利用者数は限定的であることが想定されるため、「図書館による自己評価(左記)」に記されたような「利用者拡大」よりもむしろ、現在の利用者のニーズや利用状況を十分に把握し、「利用件数の増加」を図る方向性での改善が望ましい。